

若い芽

令和7年11月号

2025年(令和7年)11月19日発行

開校 40 周年記念合唱コンクール式辞

校長 後藤 大輔

札幌では年間の真夏日の日数が約百年ぶりに更新されるなど、記録的な猛暑となった夏がやっと過ぎ去ったのも束の間、短い秋も終わり、今朝は雪混じりの雨が降る冬を感じさせる時期となりました。そのような中、本日は札幌市立栄町中学校開校 40 周年記念合唱コンクールを、ここカナモトホールで開催することができましたことに大きな喜びを感じております。

ここで、本校の歴史について少し御紹介します。お手元のしおりにも書きましたが、本校は昭和 61 年に栄中学校と栄南中学校が母体となって、新入生を含めた全校生徒 802 名でスタートしました。札幌市立の中学校としては 76 番目の学校でした。当時は栄中学校が制服を新しいデザインに変更したばかりの時期だったこともあり、開校当初は、栄中学校の新旧の制服、栄南中学校の制服、そして本校の制服と、全部で 4 種類の制服を着ている生徒が入り混じって学校生活を送っていたようです。また、当時は現在よりも多くの生徒が在籍していた関係で、本校の 1 階には第 2 音楽室や第 2 美術室が設置されておりました。学校行事も多く、夜間に遠距離を歩く「ミッドナイトウォーク」や、真冬のグランドでの「雪中キャンプ」等の行事も行われていた記録があります。さらに、学校周辺においても開校当時は地下鉄東豊線もまだ建設中の段階で、そんなところからも 40 年の歴史の長さを感じられるところであります。

その後、平成 4 年に体育館奥に格技場が設置、平成 18 年には現在の 7 組が開級されるなどの変遷があり、昭和、平成、令和と 3 つの時代を経て現在に至ります。開校当初からの建学精神である「風雪に耐えて立て」の言葉のとおり、正面玄関には「厳しい風雪に耐えて、明るくたくましく子どもたちが成長すること」という願いが込められたレリーフが、開校当初から今なお生徒のみなさんを見守っています。今日はこれまで栄町中学校を支えてくれたたくさんの関係者の方々に感謝しながら、生徒のみなさんの成長の様子を披露する場として、練習の成果を存分に発揮してもらえることを期待しています。

最後になりましたが、本日は本校の高玉 P T A 会長様をはじめ、本校学校評議員の皆様、本校歴代校長先生の皆様、本校校区内の小学校校長先生の皆様、並びに町内会や関係団体の方々等、多くの御来賓の皆様をこの会場にお迎えできたことに加え、PTA 役員の方々の御協力と多くの保護者や御家族の方々に御参観いただきましたことを心より感謝申し上げます。今後とも本校の教育にお力添えをお願い申し上げますとともに、本日の合唱コンクールが本校の歴史の新たな 1 ページを刻み込むにふさわしい成果となりますことを祈念いたしまして式辞といたします。



新制服紹介 2026 年度入学生から変わります



開校 40 周年記念合唱コンクール P T A 会長祝辞

PTA 会長

伝統ある栄町中学校の開校 40 周年という記念すべき式典にあたり、PTA を代表いたしまして、御挨拶申し上げます。

本校が開校した頃は、「つくば万博」が開催され、科学技術への関心が高まり、家庭用ビデオカメラやファミコン等が普及し始めた、新しい時代へと向かう転換期でした。

あれから 40 年。先生方の熱心な御指導と地域の方々や保護者の皆様の温かい御支援のおかげで、栄町中学校は多くの素晴らしい卒業生を送り出し、今もなお、子どもたちが元気に学び、成長する場として歩みを続けています。

生徒の皆さんは今、タブレットや AI といった、開校当時には想像もできなかったような新しい技術に囲まれながら、日々学んでいます。しかし、どんなに時代が変わって科学技術が進歩しても、卒業生や皆さんが、この学校で得た「学ぶことの喜び」や「仲間と過ごす時間のかけがえのなさ」は、これからも変わることはないでしょう。私たち PTA も、学校や地域の皆様と力を合わせながら、これからも子どもたちの成長を全力で支えてまいります。

本日は栄町中学校の 40 年の輝かしい歩みに心から敬意を表するとともに、これから進んでいく未来へのさらなる発展を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。最後に、この後開催される合唱コンクールでは「40 年の伝統」と「未来への希望」を歌声に乗せて、ホールいっぱいに響かせてくれることを期待しています。

開校 40 周年記念合唱コンクール生徒会長あいさつ

第 40 期 生徒会長

栄町中学校開校 40 周年記念合唱コンクールのこのステージに立てていることをとても嬉しく、誇らしく思います。

この 40 年の間、多くの方々がこの学校の礎をつくってくださいました。先日生徒会で、第一期生あかしや幼稚園の園長先生を取材させていただいたのですが、今とは違う 40 年前の学校の様子を聞くことができました。そして、卒業してもずっとこの栄町中学校のことを大切に思ってくださいているのだということを感じました。私たちはこれまでに卒業された多くの先輩方からのバトンを受け継ぎ、今ここにいます。そのことを常に忘れずに、これからも全員で力を合わせてこの学校で努力していきたいと思います。

保護者の皆さん、いつも支えてくださってありがとうございます。今日は素晴らしい合唱を響かせます。ぜひお聴きください。

地域の皆さま、いつも私たちのことを考えてくださり、ありがとうございます。不審者が出た際には、多くの方々が私たちの登下校を見守ってください、とても心強かったです。

教職員の皆さん、いつもそばにいて、私たちのために動いてくれていること、生徒はみんなわかっています。時に甘えたり、困らせたりすることもあるかもしれませんが、これから見守ってください。今日は全力の合唱を響かせます！

今後の栄町中学校がさらに発展していくことを願い、結びとさせていただきます。



3 年学年合唱



2 年学年合唱



1 年学年合唱

合唱コンクールを振り返って

<3年1組>

40周年を記念してカナモトホールで行われた合唱で、まさかの大トリ。今までの自分たちの練習を信じて舞台へと上り保護者の方へと目を向けると三階席いっぱいの保護者。そのあまりの多さに気圧されつつ、「群青」を歌い始め、気が付いたら歌い終えていました。本当に楽しい時間でした。ほどよい緊張感で先生に言われた一つ一つを思い出しながらのひと時、とても楽しめました。他のクラスの合唱は中1、中2の頃に歌った曲があり、懐かしみながら聴けました。学年合唱1年は「マイウェイ」で自分達が1年の時よりも上手。2年は「ほらね」でその歌声に引き込まれました。そして3年の「ファイト」ラスサビの三連続の「ファイト～のぼってゆけ」の部分だんだんとライトが消えてゆき最後に暗くなる。歌っている時自分自身とても痺れるくらい良かったと感じました。またこんな合唱コンがやりたいと思いつつ、この合唱コンが終わってしまうのかと寂しく思いました。



<3年2組>

この曲は作詞した人の過去がたくさん書かれている曲なので、そこにどう感情を入れるのかが、とても難しかったです。最初は音程やリズムなどを合わせるのに必死だったけど、練習を重ねていくうちに、ここをもう少しこうしたら良くなると思うなどの意見をみんなが出せるようになってきて、最初とは比べられないくらいまとまりが出たし、声も出てたので、良い合唱になったなと感じました。あと、今回の合唱コンを通して意見やアドバイスを申し合っていたので、クラスの雰囲気が明るくなったし、仲が深まった気がしました。合唱コンの結果は金賞ではなかったけどこのクラスでここまで頑張れて良い合唱にできて、すごく良かったと思いました。3年はもう行事はないけど協力し合って頑張っていきたいです。



<3年3組>

3年目の合唱コンクールなのでみんな慣れていると思うけど、3年生だからこそプレッシャーを感じました。最初は音程もバラバラで声も出てなくて、動画を見た時は絶望的でした。4組と初めての交流会では歌のレベル的にかなりの差を感じました。1組と2-3・1-3との交流では想像を超える上手さで、不安で押し潰されそうになり、とても危機感を持ちました。でもみんなの歌声から意欲が伝わってきて、私も焦ってる場合じゃないなと思い知らされました。練習前にどの部分をどう意識するか確認し、各パートごとの反省点を共有し、改善を重ねました。昨日よりもうまくなっていると成長していることを日々実感していました。本番では、今までの日々を振り返り、感動することができました。私はみんなとの合唱練習がとても楽しかったし、良い思い出になりました。3組の絆をさらに深めることができたと思います。そして、この経験を活かして、卒業式の合唱でも頑張っていこうと思います。



<3年4組>

中学校生活最後の合唱コンクールで金賞を取ることができて、とても嬉しく思います。放課後に残って練習をしたり、みんなが良い合唱をつくり上げたいと思ったからこそ取れたものなのではないかなと思いました。中々上手くいなくて不安だったり、衝突した時もありましたが、みんなが同じ方向を向いて努力したおかげで、目標だった金賞まで届いたのだと思います。学年合唱では合わせる機会が少なく、不安な気持ちもありましたが、カナモトホールでいざ歌うと、とても楽しく、ずっとここにいたいなと思いました。照明が落ちていく演出も今だに脳裏に焼きついています。きっとこれから先も忘れることはないと思います。最後の合唱コンクールをカナモトホールで行うことができ、運営して下さいた方々に感謝しています。高校生になっても、この合唱コンクールを心に刻んで生きていきたいなと思います。



<2年1組>

自分は急遽、指揮をすることになったので不安もありましたが、幼い頃に行った演奏会で見た指揮者がすごくかっこよかったことを思い出し、自分もやってみようと頑張りました。実際やってみると難しく、覚えたり、テンポを刻んだり、伴奏と合わせたりと大変でしたが、少しずつ上達していくうちに楽しくなっていました。1組全員が放課後練習に参加し、真剣に「金賞」を取ろうという思いで取り組んでいて素晴らしかったし、自分もその一員になってうれしかったです。自分は人前に出るという経験が少なかったし、指揮に自信がなくて不安もたくさんありましたが、1年生や3年生との交流会や学年交流会を通し、人前に出ることに慣れて自信ができました。当日は発表までドキドキで緊張してましたが、本番では案外落ち着いて練習通りできました。このような経験をさせて頂いたことに感謝し、これからの生活に生かしていきたいと思います。



<2年2組>

最初はぜんぜん上手くいなくて、ぐだぐだな指揮になっちゃって、すごく申し訳なかったのですが、同じパートの人など色々な人にアドバイスをもらえて、苦手な所も安定して振れるようになったし、みんなの歌もどんどん上達して、ちゃんと指揮を見てくれるようになったし、頼れる伴奏と頼れるソプラノパートと一緒に練習したから、ここまでこれたんだと実感しました。交流会でも他のクラスの合唱を聴いて、先輩後輩関係なく迫力があって、これは負けてられないと思う合唱でした。そして曲の「旅立ちの時」は昨年2年3組が歌っているのを聴いてから、ずっと歌いたかった曲だったので、その曲を歌えて、指揮者までできて本当に幸せでした。結果は銀賞で、悔しくて悲しかったけど、みんな最後まで頑張ってたし、2組がいいクラスだなんて思いました。また3年生の学年合唱「ファイト」は今まで感じたことのない迫力と力強さがあり、40周年で、このクラスで、最高の体験ができてとても幸せでした。



<2年3組>

全体を通して、まだまだ課題はあったし、できるところもあったと思うけれど、みんなで声を合わせて歌う楽しさや、協力する大切さを改めて感じる事ができました。クラスの合唱コンクールは、学校祭やその他の行事ともまた違い、そして今年はカナモトホールでの合唱コンクールで、プロジェクト長である自分が一番焦ってしまいました。ここでこれをやるのではなくて違うことをした方が良かったなと感じることも多くありました。交流会で先輩方の合唱を聴き、どうしたらこのようになれるのかと悩んだり、もっと自分のクラスの歌に向き合っていればよかったなとも思いました。そして、みんなが積極的に一人一人のことを考えて練習に取り組むことが大切だと感じました。来年の合唱コンクールでは、ゆっくり落ち着いて冷静に、みんなが安心して歌えるような合唱にできるよう頑張りたいと思います。



<2年4組>

私は今回の合唱コンクールで、学級・学年・全校の計三曲の伴奏を務めさせていただきました。不安と緊張を抱えたまま本番を迎えたものの、みんなが真剣に歌う姿を見ると、練習の時よりも自然に力が出て、最後まで何とか弾ききることができました。この行事を通して、金賞を目指すという目的のためだけではなく、一人ひとりの成長やクラス全体の絆が深まっていくのを実感し、仲間とつくり上げる音楽の価値を改めて感じる事ができました。また、学級のみならず、二学年全体で声を掛け合いながら練習に励んだ日々は、とても楽しく、大切な思い出になりました。そして、本番まで支えてくれた先生方や学級のみならずのおかげでここまで頑張れたことに、本当に感謝しています。今回の経験を生かし、これからの学校生活でも、互いに思いやることを忘れずに、より良い栄町中学校をみんなでつくっていききたいです。



< 7組 >

今年の7組は「そのままの君で」を歌いました。合唱コンクールまでの練習はとても大変でした。初めての二部合唱だったので、男女別に歌うところがわかれていて、タイミングを合わせるのが難しかったです。本番は、とても緊張して声が出せるかどうか、とても不安だったけれど、みんなでしっかり歌えたのが良かったです。3年学年合唱は、曲の最後にステージが暗くなって指揮者が見えない中で、みんなでしっかりと歌うことができました。後輩から「とても凄くて、感動したよ」と言ってもらえて、嬉しかったです。



<1年1組>



最初の方は「ちゃんと歌え!」とか「ふざけないで」なんて言葉が聞こえてくるような雰囲気だったけど、徐々にメリハリがつき、真剣な雰囲気になって、1組全体が一つになった気がしました。他のクラスからも「上手いね」と言葉をかけてもらうようになったし、先生方からもそんな言葉をたくさんかけてもらって、とてもうれしかったし、自分達の成長を感じました。個人的にアルトからソプラノに移った時「高い声出せるんだ」と自分に驚いたことも、心に残っています。来年も本気で楽しくやりたいです。

<1年2組>

私は初めての合唱コンクールで、初めてのパートリーダーを経験しました。最初はどのような練習をすればいいかもわからなくて、あたふたして1時間が終わることもありました。でもみんなが「これした方がいいんじゃない」など意見を言ってくれたおかげで、自分は何をすべきか気づけるようになりました。どんどん自信を持って歌えるようになり、毎日練習が楽しかったです。本番は緊張はなく、納得のいく歌をいい気持ちで歌えました。大きなホールで合唱できて、とてもいい経験になりました。来年も全力で頑張りたいです。



<1年3組>



私は初めての合唱コンクールの場所がカナモトホールだと知って、とても楽しみでした。でもその分大きな声で、キレイな響く声で歌わないといけないと思い、少し緊張していました。最初にみんなと合わせた時は、音とりやクレッシェンドや三連符ができていなかったけど、練習している中でどんどんできるようになって、みんなとの合唱で初めてできた時、すごい! と思って、とてもうれしかったです。本番はすごく緊張していたけど素敵な合唱になりました。みんなでとった金賞がうれしかったです。

<1年4組>

最初の頃は本当に上手くいくのかなとか、みんな真剣に練習してくれるのかなと不安でしかなかったけど、練習を続けていくと、みんなで聴き合ってアドバイスをしたり、一人一人に「こう歌いたい」という気持ちがあることを感じて、少し安心できました。急にできていたことができなくなったり、音程が合わなくなったりして、大変なこともありましたが、みんなで乗り越えられたからこそ金賞という結果がついてきたのかなと思いました。4組の歌声がカナモトホールにも、聴いてくれた人たちの心にも響き渡っていたらいいと思います。



<1年5組>



最初、自分の歌声に自信はなく、声も小さくて、音も合っていませんでした。しかし練習をしていくうちに、自信を持てるようになってきて、周りの人や先生方から「音が合ってるね」などとほめられた時はうれしかったです。こうして自信を持って歌えるようになり、自分の成長を感じることができました。今も周りの人からの言葉を忘れていません。まだまだ自分は未熟なところもありますが、これからもいろんなことにチャレンジしてみます。次の合唱コンクールは金賞を取ってみます。みんなで楽しく歌えて幸せでした。